

総団結して課題を乗り越えよう



第73回地方大会終了 運動方針確立・全議案を承認



No. 2755
2018年10月15日
発行責任者 五十嵐 敬
編集責任者 武田 昌仙

地方本部は第73回定期地方大会を9月24・25日の両日、松島町において開催した。大会では、代議員の真摯な討論が行われ、運動方針など全議案を承認、決定した。

大会一日目

大会は歌川副委員長の司会で始まり、代議員定数25人中24人の出席を確認して大会の成立を承認。議長団には、議長に小椋（福島）、副議長には村上（宮城）両代議員を



地本五十嵐委員長

◆政治課題

○自民総裁選で安倍が3選、秋の臨時国会での改憲案提出に大きく動き出した。一方で国民の半数は改憲に反対のアンケート結果も。9条改憲阻止に向けて広範な市民団体と立憲野党との共闘で闘いを進める。

◆組織強化拡大

○東労組の大量脱退でJR東日本の労組加入率が3割程度になる等、労組の影響力が大きく後退。

選出した。

地本を代表し五十嵐委員長は、4点について挨拶を行った【左記参照】。続いて来賓及び東日本本部から挨拶を受け議事に入った。決算・協定・経過について承認がされ、機関紙表彰を行い一日目の議事は終了。

○36協定締結の職場代表選挙では、時間がなく十分な取組みであったが、組織数を上回る得票を得るなど国労の存在感を示した。

○昨年の大会から4人拡大。分会機能を高める取組みを積み上げてきた郡

取組みの再強化を

山駅連合分会の教訓に学びたい。

○この数年で本体とエルダー組合員の数が逆転。これまで通りの運動を継続するには財政の確立が必要。全国大会では、基金に対する規約改正、エルダー組合員の組合費の値上げが決定。理解を。

○地本専従枠は確保した。

大会二日目

運動方針に対する質疑では19人の代議員が発言し、執行部の答弁と書記長集約を受けて承認された。その後、スト権一票投票では出席代議員25人全員が賛成しスト権を確立。

役員改選では会計監査員一人が交代し、大会宣言の採択後、五十嵐委員長が挨拶を述べ、とうとう終了した。

- 7・26 第87回定期全国大会
- 8・6 調査部長会議
- 8・7 第13回地方執行委員会
- 8・19 安全問題プロジェクト会議・業長会議
- 8・24-25 第32回東日本本部定期大会

※代議員の発言は別途機関紙に掲載予定

機関紙表彰

- 郡工情報 郡工支部 (年間52号発行)
- 分会通信 郡工貨物分会 (年間61号発行)
- 団結 仙総所支部 (年間32号発行)

地方委員 (15人)

宮城県支部

- 8・25 第13回地本アスベスト学習会
- 8・31 第14回地方執行委員会
- 9・8 組織部長会議
- 9・9 東日本本部ゴルフ大会
- 9・14 第15回地方執行委員会・支部代表者会議

- 大友 清孝 (仙台駅連)
- 齋藤 博仁 (仙台運輸区)
- 宋戸 康 (仙台保線区)
- 福原 育夫 (仙台電車区)
- 長谷川 義浩 (貨物宮城)
- 金野 順行 (小牛田運輸区)
- 福島県支部
- 丹治 覚夫 (福島地区)
- 小椋 正 (郡山駅連)
- 橋本 好衛 (貨物福島)
- 郡山工場支部

- 大久保 浩 (車体科)
- 仙台総合車両所支部
- 鈴木 英弘 (車体)
- 井上 秋彦 (台車)
- 高橋 進 (台車)
- 東北自動車支部
- 佐藤 浩二 (岩手県)
- 山形県支部
- 土田 聡 (新庄連合)

熱烈歓迎します！

労働組合は必要

9月7日、国労仙台信通区分会では、仙台市内において8月1日付で国労加入した武田和俊さんの歓迎会を盛大に開催しました。

歓迎会では、地本歌川副委員長から武田さんへ国労バッジ・国労手帳が贈られ、地本千葉組織部長、宮城県支部村上執行委員が歓迎の挨拶を述べました。

また郡山設備分会（信通班）の仲間や分会OBなど、総勢30名が激励に駆けつけ



挨拶する武田さん

「石崎さん武田さんと共に、さらに職場の仲間と話しかけ、3人、4人と国労加入を実現しよう」と会場に訴え、次の仲間を増やすため更なる団結を誓い合いました。

【弘】

労働者の健康管理は会社の責務

「財団法人こくろう会館」主催による、第13回アスベスト学習会が8月25日、仙台市内ホテル法華クラブで開催された。学習会では、仙台錦町診療所の広瀬俊雄医師と神奈川労災職業病センター池田理恵常務理事からそれぞれ講演を受けた。

◆国に曝露対策と り患保証の確立を

広瀬氏は、「石綿は石綿肺・肺ガン・中皮腫などの健康被害を発生させる危険有害物質であり、71年（西暦。以下同様）に特定化学物質に指定され、75年には石綿の吹付け塗料が禁止された」と石綿の歴史を紹介。70年代をピークに年々減少するが建物の解体が始まり肺ガン・石綿肺・中皮腫などの病気が発症。特に中皮腫は、ほぼ100%石綿が原因と報告。更に石綿取り扱いは喫煙者の場合、非喫煙者と比較して53・2倍肺ガンに罹患するリスクがあるというデータを紹介。結びに、「今後、石綿含有建物解体が多く発生するため、国にしっかりと曝露防止対策をさせ、り患した場合の補償を確立させる取組みが必要だ」と訴えた。

◆労災認定基準改善の ためにも手帳取得を

池田氏は、健康管理手帳について「厚労省が石綿業務など有害物質を取り扱う仕事に従事した人を対象に、年2回指定された医療機関で無料の健康診断を受診出来、交通費も支給される」と説明。その取得に際して国労の場合、国鉄・JRに職歴があるため

仲間の異動

8月1日付

○公家 誠さん

テクノ新幹線営業所

テクノ郡山営業所

今年も上位入賞!

第6回国労東日本本部ゴルフトーナメントが9月10日、栃木県宇都宮市のサン



健闘した仙台地本チーム

ヒルズカントリークラブで開催され、仙台地本チームは第4位と健闘しました。トーナメントは、時折小雨の降る悪天候のなか、各地方本部の精鋭全13チームで熾烈な戦いが繰り広げられました。

仙台地本チームは、青野恒男、柳田敏幸、中鉢 悟、阿部貴弘各氏で、昨年10月開催された仙台地本ゴルフ大会の上位4人。各チーム4人の合計スコアで争われました。

東日本本部大沼委員長からは、「最重要課題である組織強化・拡大の取り組み

に弾みをつけるため全力で頑張ろう」と挨拶。参加者全体で組織拡大実現を誓い合いました。【弘】

【団体成績】
優勝 大宮地区本部2
338
第4位 仙台地方本部
359

【個人成績】
優勝 嶋野菊治さん
(神奈川地区本部) 79
第11位 柳田敏幸さん
(車体分会) 86
第12位 中鉢 悟さん
(小牛田運輸区分会) 86
第19位 青野恒男さん
(仙宮運輸区分会) 90
第40位 阿部貴弘さん
(郡山駅連合分会) 97

存在。コンテナ床下のアランダールに含有、床下は破損時グラインダーで切断し補修している箇所。会社を追及するが「問題ない」の一点張り。
▼コンテナ検修庫。
①ヘルメットを掛ける棚等を取り付ける際、ビスを使用しホコリを飛散させた。
②ばく露の責任は誰が取るのか。
③過去と現在、検修庫を利用した人の健康診断が必要。
④今後この検修庫をどうしようとしているのか等追求。またアスベストコンテナについて、会社は「全国に1万9千58個あり、現在1万1千356個が運用中としており、

死亡し、解剖の結果、石綿小体、乾燥肺重量1g当たり一千65本（5千本以上に基準改善）だったが、15年3月労災申請、18年1月敗訴し東京高裁へ控訴。敗訴理由は「大してアスベストを吸っていない」であり、肺ガンの認定基準の改善のためにも健康管理手帳を取得することが重要と訴えた。

◆全体討論から

▼宮城野貨物。コンテナ検修庫に吹き付け材として石綿使用の疑義があり、

本年3月、会社に分析させた。結果は、白石綿12%、茶石綿57%の含有率、また粉じん濃度調査結果も公表させた。
▼アスベストコンテナの

退職のお知らせ
7月31日付
大和 秋男さん
小牛田運輸区
(テクノ新幹線)
宮本 広美さん
仙台電車区
(スワローツアー)
鈴木 正弘さん
福島地区
(リビット藤田駅)
狩野 豊さん
小牛田駅連合
(テクノ新幹線)
伊藤 潤二さん
仙総車体
(車両エルダー)
片岡 誠志さん
岩沼駅連合
(リビット山下駅)

若生 英幸さん
仙台建築(退職)
今野 宏さん
仙台電車区
(車両エルダー)
菅原 清さん
郡山駅連合
(リビット山形駅)
伊藤 正雄さん
郡工車体科
(JRTM郡山)
大庭 茂さん
小牛田駅連合
(輸送エルダー)
坪井 幸則さん
郡山駅連合
(リビット三春駅)
菊地 勉さん
新庄連合
(施設エルダー)
三浦 誠一さん
小牛田保線区
(保安サブライ)
石田 正幸さん
新庄連合
(施設エルダー)
大土 善弘さん
仙宮運輸区(退職)
三戸部 正弘さん
仙台電力区(退職)

8月31日付
佐藤 啓二さん
郡山駅連合
(テクノ郡山)
田中 信二さん
仙総車体
(JRTM新幹線)
遊佐 友吉さん
仙宮運輸区
(テクノ新幹線)
木村 真裕さん
仙宮運輸区(退職)

長い間お疲れ様でした
発症するため、今後被害の拡大が予想される。不幸にして病気になった事を考慮し、従事歴を揃えておく事が大切。会社に対して「労働者の健康管理は会社の責務」であることを指摘していかなければならない。息の長い闘いになるが共に取組んでいく。【勝】

◆地本アスベスト対策委員会から。
①特殊健康診断結果を地本に報告を。
②会社は、職場にはアスベストは無いと言うが時々出現。疑わしい場合は、会社に対応を要求すると共に地本にも連絡を。曝露後30〜40年経過し

長い間お疲れ様でした
発症するため、今後被害の拡大が予想される。不幸にして病気になった事を考慮し、従事歴を揃えておく事が大切。会社に対して「労働者の健康管理は会社の責務」であることを指摘していかなければならない。息の長い闘いになるが共に取組んでいく。【勝】